



ハンドパレット・トラックスケール THP-10SC-B

はかり部
取扱説明書

目次

	ページ
●安全にお使いいただくために……………	1～2
●始業時点検のお願い……………	3
●保管・廃棄について……………	3
●このような機能があります……………	4
●各部の名称……………	5
●表示部及びキー操作部について……………	6
◇表示部	
◇キー操作部	
●ご使用前の準備……………	7～9
◇使用地域の重力加速度補正について	
●計量のしかた……………	10
●風袋引のしかた……………	11～13
1. ワンタッチ風袋引	
2. プリセット風袋引	
◇風袋引の取り消しかた	
◇容器を載せたままでの風袋引の取り消しかた	
●上限値および下限値の設定のしかた……………	14～20
◇判別基準	
◇下限値の設定	
◇上限値の設定	
◇上限値及び下限値の確認又は変更のしかた	
◇上限値及び下限値の取り消しかた	
◇特殊な設定による判別基準	
◇誤設定した場合の判別基準（参考）	
●加算及び合計のしかた……………	21～22
◇合計キーの使いかた	
●エラー表示について……………	23
●ユーザパラメータの設定のしかた……………	24～27
◇ユーザパラメータ表	
●バッテリーの充電について……………	28
●故障かな？と思ったら……………	29
●仕様書……………	30

安全にお使いいただくために

危険の程度、内容については下記のように定義しております。

危険

：この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の恐れがある内容を示しております。

警告

：この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり財産の損害を受ける恐れがある内容を示しております。

注意

：遵守または矯正しないと製品自体に損傷を与える恐れがある内容を示しております。

この製品のご使用前に下記の「重要警告事項」をよくお読みいただき、理解し遵守してください。

危険

：感電事故を避けるために

- (1) 漏電による重傷事故を避けるために必ずアース線をアースに接続してください。
- (2) 電源コードは、足、運搬車等の車輪で踏まないようにしてください。
- (3) 指示部等のネジ止め部は、絶対に外さないでください。
- (4) 電源プラグの抜き差しは、プラグの樹脂部を持って確実にこなってください。

危険

：爆発、引火事故を避けるために

防爆機能を備えておりません。

可燃性ガス、危険物等の存在する場所での使用は避けてください。

危険

：火災、感電事故を避けるために

万一煙が出ている、へんな臭いがする等の異常状態で使用すると、火災、感電の原因となります。

すぐに電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

警告

：傷害、損害事故を避けるために

- (1) フォークに被計量物を載せる場合に片側・先端などに偏った載せ方をしますと、正しく計量ができないばかりか、荷崩れをおこし非常に危険です。
- (2) フォークに飛び乗ったりしないでください。転倒する恐れがあります。
- (3) バッテリーの充電完了後は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- (4) フォーク部や指示計部のカバーを外し、内部をいじらないでください。
- (5) 誤って表示管を破損した場合、液晶表示管内部から流れ出た液体は毒性が有りますから絶対に口に入れないでください。

⚠ 注意

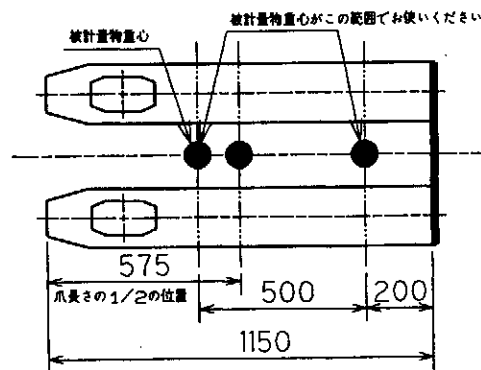
：製品を損傷させないために

- (1) 表示部、キー部を爪や先の尖った物で押さないでください。
- (2) 電源電圧、使用環境を遵守してください。
- (3) ひょう量（1t）以内でご使用ください。
- (4) フォークに被計量物の落下等による衝撃を与えないようにしてください。
本製品自体を落下させないでください。
- (5) 高温、高湿の環境下でのバッテリーの充電はしないでください。風通しのよい涼しい場所で充電をおこなってください。
長期間使用しない場合、3ヶ月に1度はバッテリーを充電してください。自己放電により使えなくなったりバッテリーの寿命が短くなります。なお、充電は、はかりの電源をオフした状態でおこなってください。

⚠ 注意

：はかりの性能を維持させるために

- (1) 振動及び強い電磁波が発生する機器類の近くでのご使用は避けてください。
- (2) 直射日光の当たる場所や冷暖房機の風が当たる場所での使用は避けてください。
- (3) 本製品は防水仕様ではありません。フォーク部及び指示計部に水をかけないでください。また、濡れた路面等での使用は避けてください。
- (4) 使用温度範囲（-5～35℃）内でご使用ください。
- (5) 平坦な舗装路面等でご使用ください。
- (6) バッテリーの期待寿命は3～5年（使用環境により異なる）です。使用期間が長くなると徐々に使用可能時間が短くなります。その場合はバッテリーを新品と交換してください。交換時期を過ぎて使用しますと、最悪の場合バッテリーから発煙、発火が生じる可能性があります。バッテリーの交換に際しては販売店かメーカーへお問い合わせください。
- (7) 計量時の目安として、パレット上の被計量物重心が爪長さの1/2より中に入るようにしてご使用ください。



- (8) はかりが汚れた場合は柔らかな布で拭いてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を少しつけて固く絞った布で拭いてください。シンナーや薬品は使用しないでください。
- (9) 一切の分解、改造はしないでください。以後のサービスが受けられなくなる場合があります。
- (10) バッテリー切れのサインが表示されたら速やかに充電をおこなってください。

始業時点検のお願い

本製品は取引証明以外用はかりですが、計量法の精神に則り、始業時の点検、質量チェックを実施してください。

保管・廃棄について

保管場所について










- ①高温／多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって動作しなくなる場合があります。
- ②本体は精密な電子機器のため、過度の衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での保管は避けてください。

廃棄について

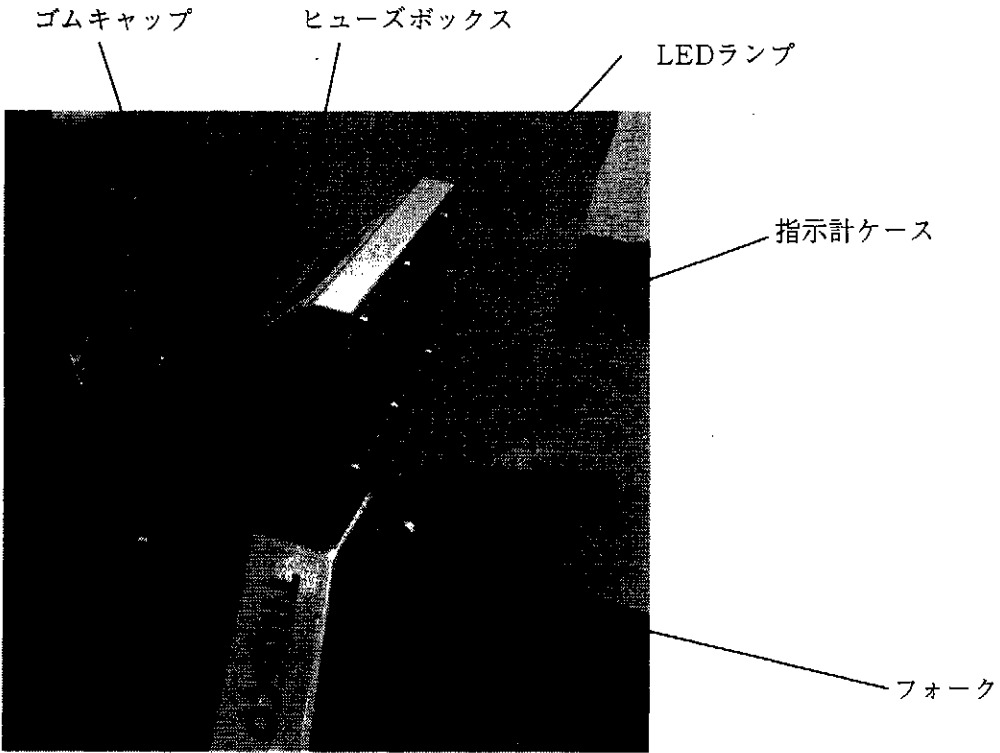
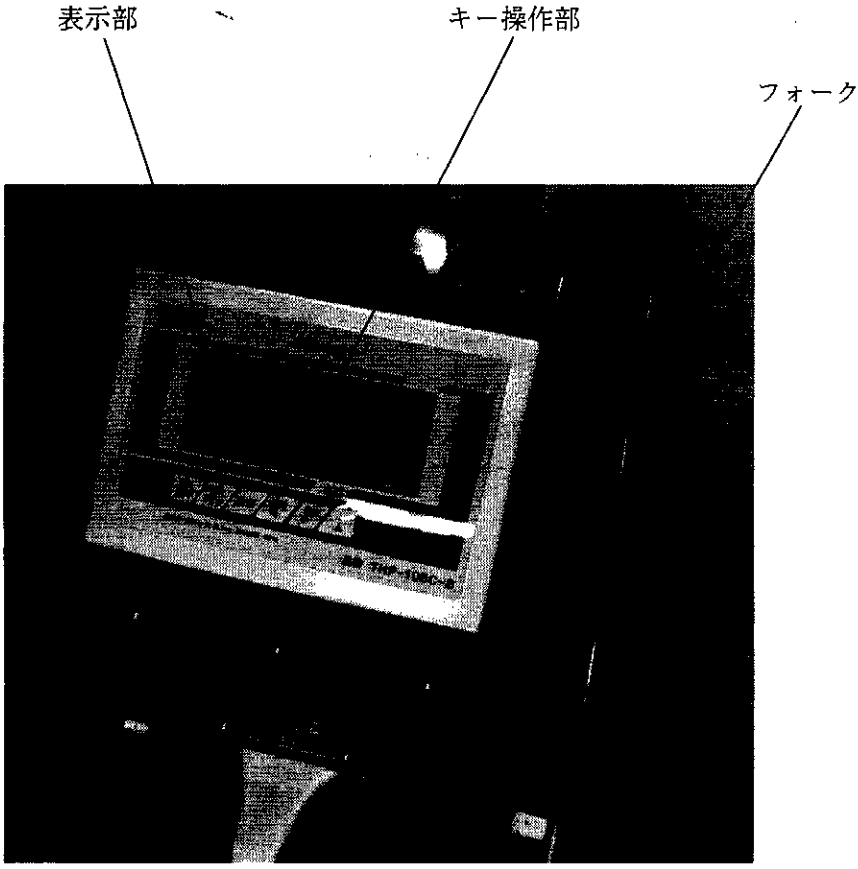
本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物（燃えないゴミ）となります。
廃棄方法については、各自治体で定められている廃棄要領に従って、正しく廃棄してください。
なお一部の部品はリサイクル対象品も含まれていますので、産業廃棄物処理業の許可を有する業者へ委託し正しくリサイクル処理及び廃棄していただくようお願いいたします。

このような機能があります

本製品は、簡単な操作で効率的な計量作業が行えます。作業の目的に応じてお役立てください。

目的	方法	備考	ページ
風袋引 計量物又は、計量物を入れる容器の質量を0表示にしたい。(パレット自重含む風袋質量)	1  キーを使って、ワンタッチで風袋引きをすることができます。		11
	2  キー、  キー、  キー、  キーを使って、風袋量(容器質量)の設定が行えます。	予めパレット自重と容器の質量測定が必要です。	12
上限値、下限値の設定 目標質量に対して過量、適量、軽量であるかを知りたい。	1  キー、  キー、  キーを使って上限値、下限値の設定を行うと、目標質量に対して過量、適量、軽量であるかが判かります。		14~20
オートオフ 一定時間使用しない時に、はかりの電源を自動的にオフしたい。	1 安定状態 ( サインが点灯) が設定分続くと自動的に電源が切れます。出荷時は機能しない設定にしています。ユーザーパラメータの設定により変更ができます。「ユーザーパラメータの設定のしかた」を参照して変更してください。	バッテリーの消耗を抑えます。時間は分単位の設定が可能です。	ユーザパラメータ表を参照ください。 26、27
バックライト うす暗い所で使用する時に、表示を見やすくして使いたい。	1 液晶表示にバックライト機能がついています。出荷時は点灯しない設定にしています。ユーザーパラメータの設定により変更ができます。「ユーザーパラメータの設定のしかた」を参照して変更してください。	バックライトを点灯しなければバッテリーの消耗を抑えられません。	ユーザパラメータ表を参照ください。 26、27

各部の名称



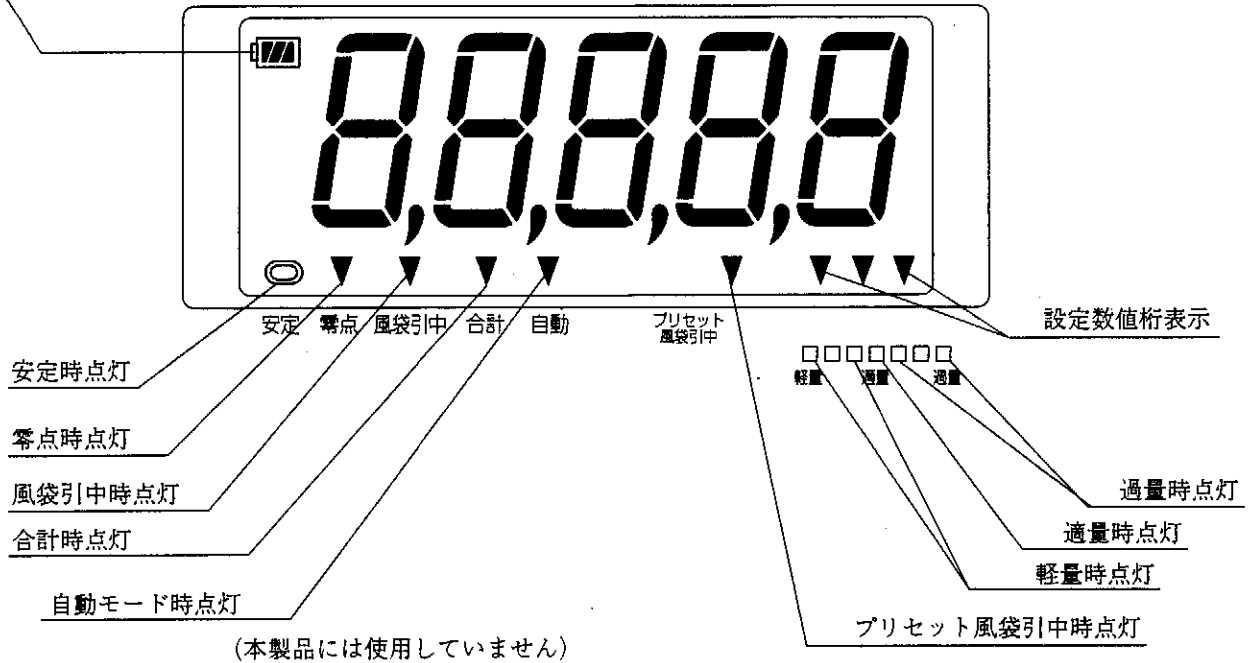
表示部及びキー操作部について

表示部

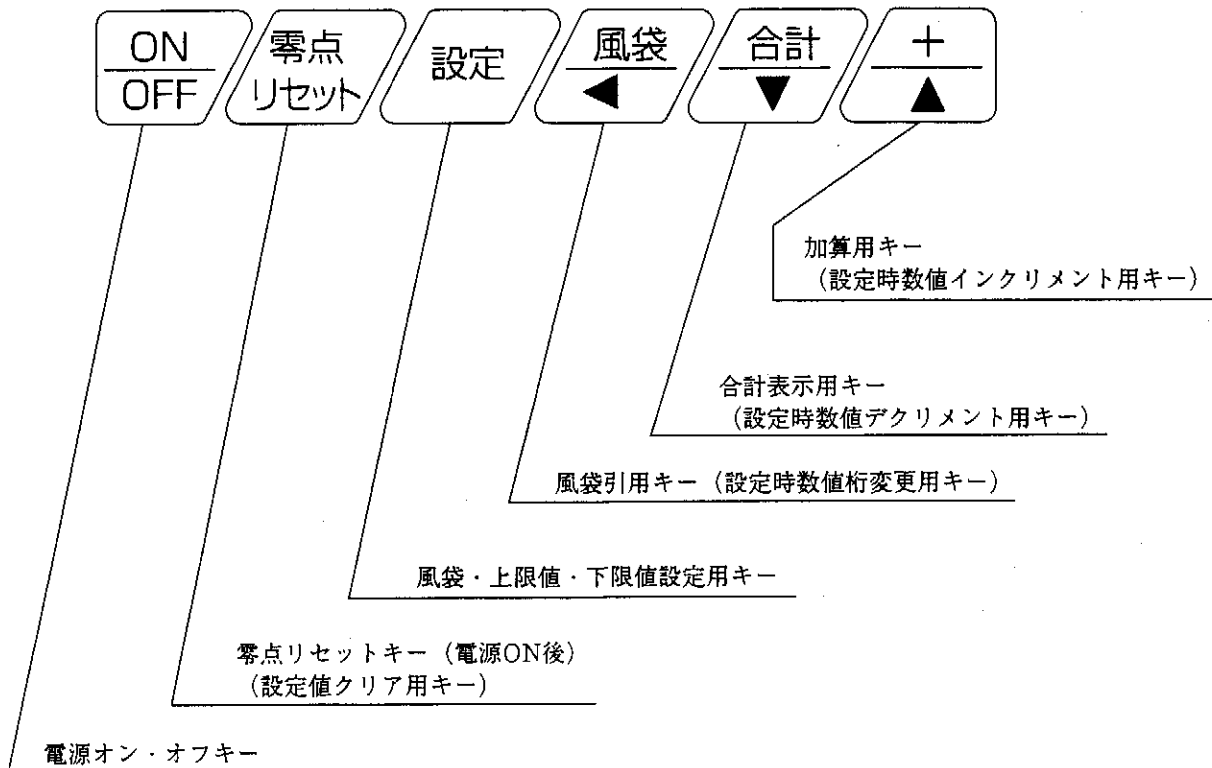
電池残量表示サイン

(電池残量に応じて3段階のレベル表示)

質量 kg



キー操作部



ご使用前の準備

使用地域別の重力加速度補正について

本製品を初めてご使用になる場合、使用地域別に重力加速度を補正する必要があります。補正を行わなかった場合、正しい計量が出来ない場合がありますので、必ず以下の方法で補正を行ってから計量を始めてください。

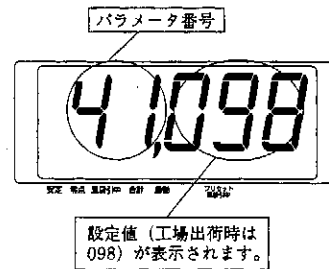
使用地域別の重力加速度については9ページの「使用地域別の設定値」を参照してください。

<補正例>





・栃木県・福井県・富山県・石川県で
はかりを使用する場合の補正方法について
説明します。

(パラメータ番号「041」の設定値
を098から099に変更することで
補正します。)

<補正中の表示例>



	操 作 手 順	表 示 内 容	備 考
①	キーを押して電源を入れて下さい。		
②	キーを押しながら キーを押してください。	 ・PARAを表示します。	ユーザパラメータ設定モードを示します。
③	キーを押してください。	 パラメータ番号が点滅します。	 表示中のパラメータ番号の設定値 (現在設定されている値)
④	パラメータ番号「41」を表示するまで キー又は キーを押してください。	 パラメータ番号が点滅します。	パラメータ番号「41」を表示させるまでに異なるパラメータ番号が表示されますが、 キー又は キー以外のキーは押さないでください。

⑤	 キーを押してください。	 <p>・設定値が点滅します。</p>	パラメータ番号を確定して設定値の変更に移ります。 (現在設定されている値が表示されます。工場出荷時は098です。)
⑥	設定したい「099」を表示するまで  キー又は  キーを押してください。	 <p>・設定値が点滅します。</p>	設定値「099」は、栃木県・福井県・富山県・石川県で使用する場合の設定値です。 その他の地域で使用する場合は、9ページの 使用地域別の設定値 を参照の上、使用地域に対応した設定値にしてください。
⑦	 キーを押してください。	 <p>・パラメータ番号が点滅します。</p>	設定値を確定すると「41」の次のパラメータ番号「66」が表示されますが、  キー以外は押さないでください。
⑧	 キーを押してください。		計量モードに戻ります。

・次回使用するときからは使用地域別の重力加速度補正は必要ありませんので、電源を入れてそのままご使用ください。

・一度重力加速度補正を行ったばかりを設定値が異なる地域で使用する場合、再度使用地域に対応した設定値に変更してください。重力加速度の補正が必要になります。




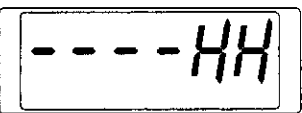
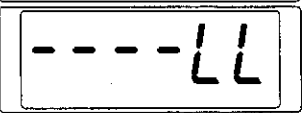
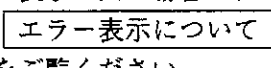
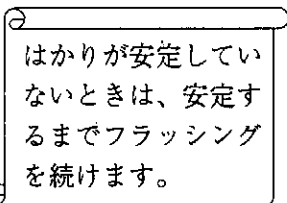
使用地域別の設定値

地域名	都道府県名	重力加速度の範囲 (m/s^2)	設定値
道北・道東地方 (十勝地方を除く)	道北地方 (宗谷・上川・留萌) 道東地方 (網走・根室・釧路)	9.804~9.807	106
道央・道南・ 十勝地方	道央 (石狩・後志・空知) 道南 (檜山・胆振・日高・渡島) 十勝地方	9.803~9.806	105
東北地方	青森県、岩手県	9.801~9.804	103
	宮城県、秋田県	9.800~9.803	102
	山形県、宮城県	9.799~9.802	101
	福島県	9.798~9.801	100
関東甲信越地方	新潟県、茨城県	9.798~9.801	100
	栃木県	9.797~9.800	099
	千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、埼玉県、 東京都 (八丈支庁・小笠原支庁を除く)	9.796~9.799	098
	長野県	9.795~9.798	097
	東京都 (八丈支庁・小笠原支庁に限る)	9.794~9.796	095
北陸地方	福井県、富山県、石川県	9.797~9.800	099
東海・近畿・ 中国地方	静岡県、岐阜県、愛知県、三重県 (東海4県) 大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、京都府、 兵庫県 (近畿2府4県) 山口県、岡山県、鳥取県、広島県、島根県 (中国5県)	9.796~9.799	098
四国地方	香川県、愛媛県、徳島県、高知県	9.795~9.797	096
九州地方	長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、 大分県、鹿児島県 (薩摩地方に限る)	9.794~9.797	096
	鹿児島県 (薩摩地方を除く)	9.791~9.794	093
沖縄地方	沖縄県	9.789~9.792	091

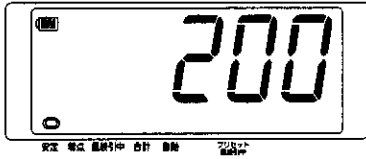




上記の内容についてご不明な点がございましたらメーカーにお問い合わせください。

(参考：国土地理院のホームページ (<http://www.gsi.go.jp>) に、地域別の重力加速度について説明がありますのでご参照ください。

計量のしかた

	操作手順	表示内容	備考
①	<p>フォーク上に何も載っていないことを確認してから  キーを押してください。</p> <p>注意:  キーを押し続けると表示が消えます。1度だけ軽く押してください。</p>	<p>・全ての表示が点滅し、約5秒後、0表示となり、零点サインが点灯します。</p> 	<p>フラッシング後、</p>   <p>の表示が出た場合は、  をご覧ください。</p> <p> はかりが安定していないときは、安定するまでフラッシングを続けます。</p>

・ 風袋引を行う場合は、11～12ページ **風袋引のしかた** をご覧ください。
 ・ 計量の上限值および下限値を設定する場合は、14～20ページ **上限値および下限値の設定のしかた** をご覧ください。

②	<p>計量開始</p> <p>フォークを上昇させてパレットを床面から完全に浮かせてください。パレット自重を含む計量物の質量が表示されます。</p>	<p>・ 計量物の質量を表示します。 (表示は計量物の重さが200kgの場合です。)</p> 	<p>計量物を載せた後、</p>  <p>という表示になった場合は、質量がはかりの計量範囲を超えています。計量物を取り除くと質量表示になります。はかりの使用範囲内で使用してください。</p>
③	<p>表示オフ</p> <p> キーを表示が消えるまで押してください。</p>		<p>計量を行わない場合、安定状態 ( サインが点灯) が約15分続くと、自動的に電源が切れます。(オートオフ機能)</p>

風袋引のしかた

計量物を入れる容器の質量を、0表示させるための風袋引き操作は2通りの方法で行うことができます。作業に適した方法でご使用ください。

1. ワンタッチ風袋引





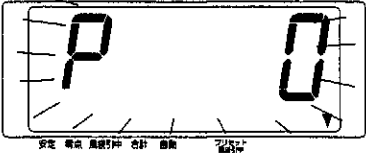


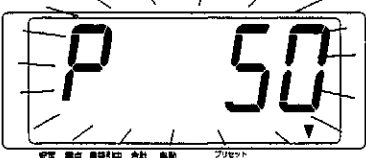


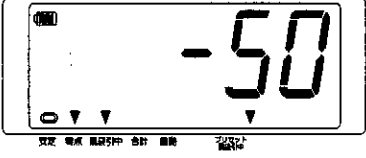


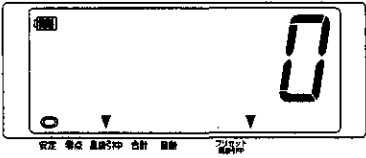
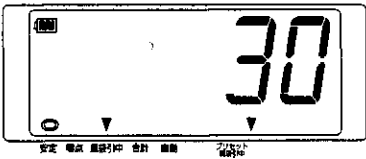
キーのみで行う、簡単な風袋引きのしかたです。

	操作手順	表示内容	備考
①	容器をパレットに載せ、フォークを上昇させてパレットを完全に床面から浮かせてください。	<p>・容器の質量（例えば50kg）を表示します。</p>	
②	キーを押してください。	<p>・表示は0となり、風袋引中サインが点灯します。</p>	
③	計量開始 そのままの状態ですら容器に計量物を載せてください。または、フォークを下降させて容器に計量物を載せてから再度フォークを上昇させてください。	<p>・計量物の正味質量を表示します。 (表示は計量物の質量が30kgの場合です。)</p>	

・風袋引を取り消す場合は、13ページ上段の **風袋引の取り消しかた** をご覧ください。

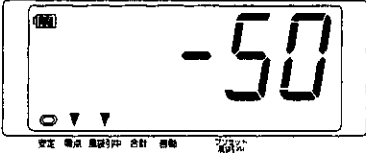

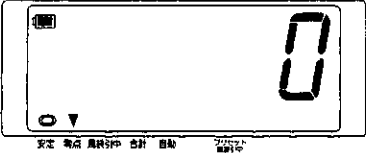
2. プリセット風袋引

風袋質量を設定キーを使って設定する方法です。
 予め風袋質量の設定が必要です。



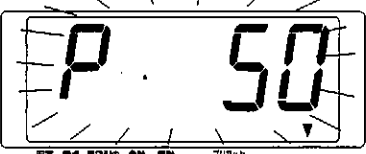

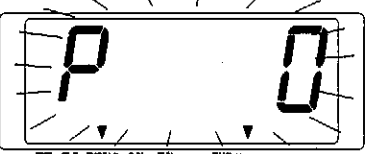

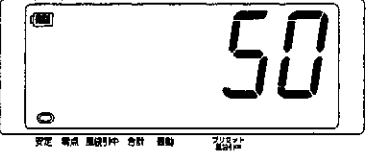
	操作手順	表示内容	備考
①	 キーと  キーを同時に押してください。	 ・表示はP 0となり点滅します。	
②	 キー又は、  キーを押して風袋の質量を設定してください。 (注意) パレット自重+容器の風袋質量を設定してください。	 ・表示は風袋の質量を50kgに設定する場合は。	 キーを押すたびに設定桁が変わります。(▼の表示が設定桁になります。)
③	 キーを押してください。	 ・風袋の質量を決定します。(−50を表示します。)	 キー又は、  キーを長押しすると数字が早く変わります。
④	容器の載ったパレットをフォークを上昇させて床面から完全に浮かせて下さい。 (③で設定した風袋と同じ質量の容器を載せてください。ただしパレット自重含む質量も同じものとしてください)	 ・表示は0となり、零点サインが消えます。	
⑤	計量開始 そのままの状態ですべてに計量物を載せてください。 または、フォークを下降させて容器に計量物を載せてから再度フォークを上昇させてください。	 ・計量物の正味質量を表示します。(表示は計量物の重さが30kgの場合です。)	

・風袋引を取り消す場合は、13ページの **風袋引の取り消しかた** または **容器を載せたままでの風袋引の取り消しかた** をご覧下さい。

風袋引の取り消しかた

	操作手順	表示内容	備考
①	容器を載せたパレットをフォークからおろしてください。	 <p>・風袋の質量をマイナスで表示します。</p>	
②	 キーを押してください。	 <p>・表示は0となり、風袋引中サインは消灯します。</p>	

容器を載せたままでの風袋引の取り消しかた



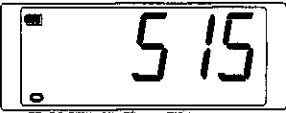


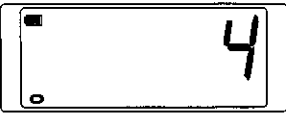
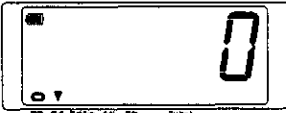
	操作手順	表示内容	備考
①	 キーと  キーを同時に押してください。	 <p>・表示は風袋の質量を50kgに設定した場合です。 P 50が点滅します。</p>	
②	 キーを0になるまで押してください。	 <p>・設定値がクリアされ、表示はP 0となり点滅します。</p>	
③	 キーを押してください。	 <p>・容器の質量を表示します。(表示は容器の重さが50kgの場合です。)</p>	

上限値および下限値の設定のしかた

計量しようとする目標質量に対して大きい値を上限値、小さい値を下限値として適量範囲を設定する場合に使用します。


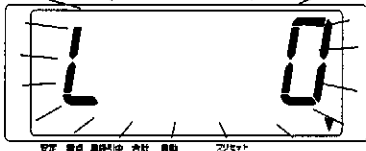


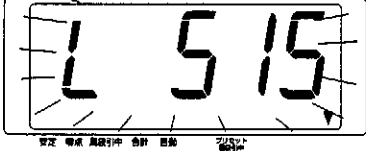




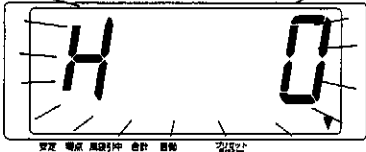
判別基準

<使用例> 515kg～520kgを適量とする場合。
はかりの目量を1kgとして説明します。


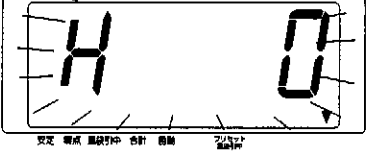


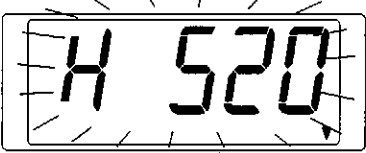



表示内容	重さ kg	区分
 ・多すぎます。少し取り除いてください。	5 2 2 5 2 1	過量 (過量サイン点灯)
 ↓  ・設定した範囲内です。	5 2 0 5 1 9 5 1 8 5 1 7 5 1 6 5 1 5	上限値として設定 適量 (適量サイン点灯) 下限値として設定
 ↓  ・足りません。増やしてください。	5 1 4 5 1 3 5	軽量 (軽量サイン点灯) ※判別できる最小質量
 ↓ 	4 0	判別しません (軽量、適量、過量サイン点灯しません。)


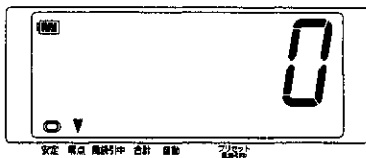
※判別できる最小質量は目量の5倍です。

下限値の設定

	操作手順	表示内容	備考
①	 キーを押してください。	 ・表示はL 0となり点滅します。	既に下限値が設定されていた場合はその値を表示します。
②	 キー又は、  キーを押して下限値を設定してください。	 ・表示は下限値を515kgに設定する 場合です。	 キーを押すたびに設定桁が変わります。 (▼の表示が設定桁になります。)  キー又は、  キーを長押しすると数字が早く変わります。
③	 キーを押してください。	 ・表示はH 0となり点滅します。	下限値が記憶され、上限値設定モードになります。 上限値の設定 の②の操作から上限値を設定してください。



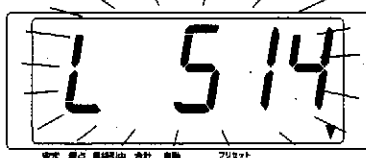












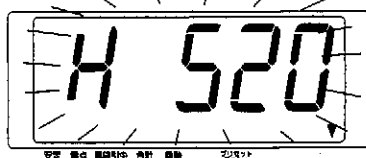



上限値の設定


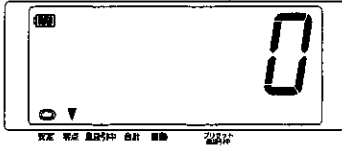
	操作手順	表示内容	備考
①	計量モードからは  キーを続けて2回押すと上限値設定モードになります。	 ・表示はH 0となり点滅します。	既に上限値が設定されていた場合はその値を表示します。
②	 キー又は、  キーを押して上限値を設定してください。	 ・表示は上限値を520kgに設定する 場合です。	 キーを押すたびに設定桁が変わります。 (▼の表示が設定桁になります。)  キー又は、  キーを長押しすると数字が早く変わります。

③	 キーを押してください。		上限値が記憶され、計量モードに戻ります。
---	---	--	----------------------




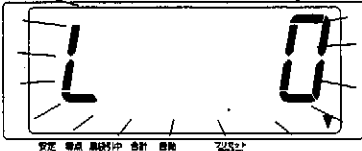


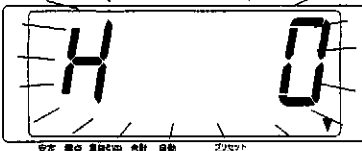

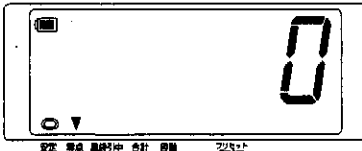
・設定された上限値及び、下限値は、変更及び、取り消しをしない限り表示オフにしても設定値を記憶しておりますので、以後の作業に適用されます。

上限値及び下限値の確認又は変更のしかた

	操 作 手 順	表 示 内 容	備 考
①	<下限値の場合>  キーを押してください。 <上限値の場合>  キーを2回続けて押して④の操作から行ってください。	 <p>・前回に設定した下限値を表示しますので確認ができます。</p>	確認のみの場合は  キーを2回押して計量モードに戻してください。
②	 キー又は、  キーを押して下限値を変更してください。	 <p>・表示は下限値を514kgから515kgに変更する場合があります。</p>	 キーを押すたびに設定桁が変わります。(▼の表示が設定桁になります。)  キー又は、  キーを長押しすると数字が早く変わります。
③	 キーを押してください。	 <p>・前回に設定した上限値を表示しますので確認ができます。</p>	下限値が記憶され、上限値設定モードになります。確認のみの場合は  キーを1回押して計量モードに戻してください。
④	 キー又は、  キーを押して上限値を変更してください。	 <p>・表示は下限値を519kgから520kgに変更する場合があります。</p>	 キーを押すたびに設定桁が変わります。(▼の表示が設定桁になります。)  キー又は、  キーを長押しすると数字が早く変わります。


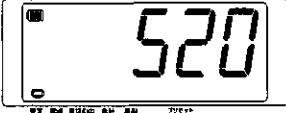

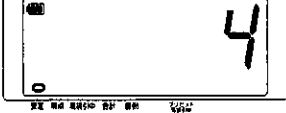
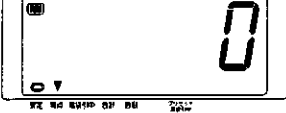
⑤	 キーを押してください。		上限値が記憶され、計量モードに戻ります。
---	---	--	----------------------

上限値及び下限値の取り消しかた

	操作手順	表示内容	備考
①	 キーを押してください。	 <p>・ 前回に設定した下限値が表示されます。</p>	
②	 キーを押してください。	 <p>・ 下限値が取り消されます。</p>	
③	 キーを押してください。	 <p>・ 前回に設定した上限値が表示されます。</p>	
④	 キーを押してください。	 <p>・ 上限値が取り消されます。</p>	
⑤	 キーを押してください。		計量モードに戻ります。



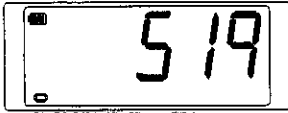



特殊な設定による判別基準

①下限値を0として上限値のみ設定した場合（過量、適量の2段階判別にしたい時）

表示内容	重さ kg	区分
 <p>・多すぎます。少し取り除いてください。</p>	522 521	過量 (過量サイン点灯)
  <p>・設定した範囲内です。</p>	520 519 5	上限値として設定 適量 (適量サイン点灯) ※判別できる最小質量
 	4 0	判別しません (軽量、適量、過量サイン点灯しません。) 下限値として設定

※判別できる最小質量は目量の5倍です。

②上限値と下限値を同じ質量に設定した場合（設定のみを適量にしたい時）

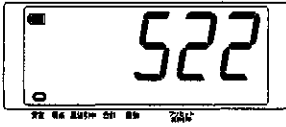

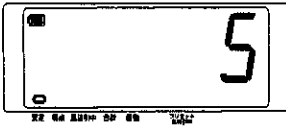
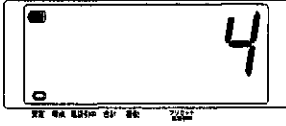
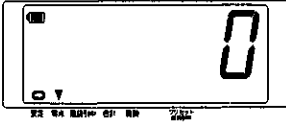
表示内容	重 さ kg	区 分
 <p>・多すぎます。少し取り除いてください。</p>	<p style="text-align: center;">⋮</p> <p style="text-align: center;">5 2 2</p> <p style="text-align: center;">5 2 1</p>	<p style="text-align: center;">過量 (過量サイン点灯)</p>
 <p>・設定した質量です。</p>	<p style="text-align: center;">5 2 0</p>	<p style="text-align: center;">上限値として設定</p> <p style="text-align: center;">適量 (適量サイン点灯)</p> <p style="text-align: center;">下限値として設定</p>
 <p style="text-align: center;">⋮</p>  <p>・足りません。増やしてください。</p>	<p style="text-align: center;">5 1 9</p> <p style="text-align: center;">5 1 8</p> <p style="text-align: center;">⋮</p> <p style="text-align: center;">5</p>	<p style="text-align: center;">軽量 (適量サイン点灯)</p> <p style="text-align: center;">※判別できる最小質量</p>
 <p style="text-align: center;">⋮</p> 	<p style="text-align: center;">4</p> <p style="text-align: center;">⋮</p> <p style="text-align: center;">0</p>	<p style="text-align: center;">判別しません (軽量、適量、過量サイン点灯しません。)</p>

※判別できる最小質量は目量の5倍です。

誤設定した場合の判別基準（参考）

正しく設定しなおしてください。

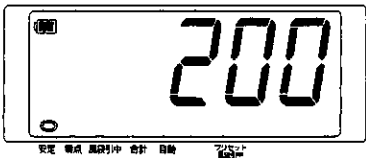

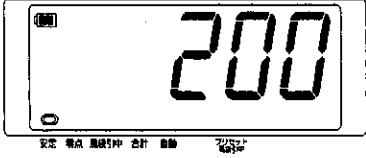


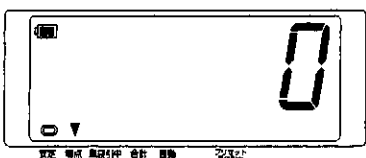
- ①上限値を0とした場合は、下限値までが軽量、下限値以上は適量となります。
- ②上限値を下限値より小さく設定した場合

表示内容	重 さ kg	区 分
	522 521	過量 (過量サイン点灯) 下限値として設定
 	520 519 5	上限値として設定 軽量 (軽量サイン点灯) ※判別できる最小質量
 	4 0	判別しません (軽量、適量、過量サイン点灯しません。)

※判別できる最小質量は目量の5倍です。


加算及び合計のしかた

毎回の計量値をはかり内部のメモリに加算し、回数や合計質量を確認したい時に使用してください。

	操作手順	表示内容	備考
①	フォークを上昇させてパレットを床面から完全に浮かせてください。パレット自重を含む計量物の質量が表示されます。	<p>・計量物の質量を表示します。 (表示は計量物の重さが200kgの場合です。)</p> 	
②	そのままの状態です。  キーを押してください。		表示はそのままです。1回目の計量値をはかり内部のメモリに記憶します。加算を取り消す時は  キーを押しながら  キーを押してください。
③	フォークを下降させてパレット+計量物をフォークから取り除いてください。		0の表示に戻ります。

○以上の操作で1回目の加算操作を終了です。



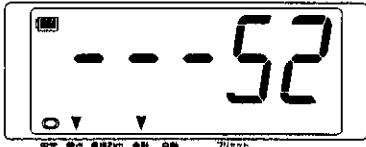
○以後①～③の操作を繰り返すことにより計量値を次々にはかり内部メモリに加算します。

加算操作後、合計値が内部メモリ記憶容量を超える時は自動的に合計表示しますので、合計値を記録した後  キーで合計値をクリアして改めて1回目より加算操作を行ってください。

オートオフ機能が働いた時や電源をオフした時には、内部メモリがクリアされます。それまでの加算や合計の値が消えてしまいます。本機能をお使いになれる時は、オートオフ機能を働かないようにして電源を入れ続けてご使用ください。


合計キーの使いかた



加算された計量物の合計回数や合計質量の確認ができます。

	操作手順	表示内容	備考
①	 キーを押してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・それまでの合計質量を表示します。 ・合計サインが点灯します。 	この場合の合計質量は5202000kgとなります。
②	再度  キーを押してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・合計質量の上位桁を表示します。 	
③	もう一度  キーを押してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・それまでの合計回数を表示します。 	

加算を続行する場合




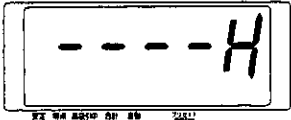




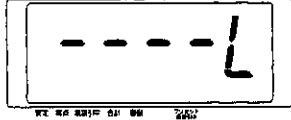

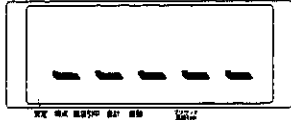
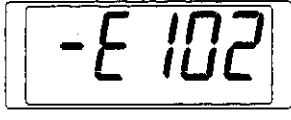
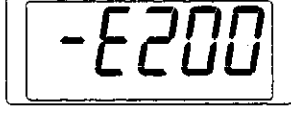
加算を打ち切り合計値をクリアする場合

合計値メモリをクリアする場合は合計値表示中に  キーを押してください。合計質量、合計回数全てをクリアし、次の作業より加算は1回目から始まります。

④	更にもう一度  キーを押してください。	<ul style="list-style-type: none"> ・合計サイン表示が消え通常表示に戻ります。 	
---	--	--	--

加算操作を行ってください。

エラー表示について

表示内容	このような時表示されます	処置の仕方
	フォーク上に重い品物を載せたままで  キーで電源オンにした時に表示されることがあります。	フォーク上の品物を取り除いて  キーを押してください。質量表示が 0 となり使用可能となります。
	はかりの使用中に重い品物をフォーク上に載せたままで  キーを押した時に表示されることがあります。	
	フォークと床面との間に異物をはさまった状態で  キーで電源オンにした時に表示されることがあります。	フォークと干渉している異物を取り除いてから  キーを押してください。 質量表示が 0 となり使用可能となります。
		フォーク部は絶対に分解しないでください。はかりとしての機能を損ないます。
	ひょう量を超える品物をフォーク上に載せた時に表示されます。	品物を取り除きますと質量表示になります。 はかりの使用範囲内で使用してください。
	使用中はかりの載せ台を取り除いた時に表示されます。	載せ台を正しく取り付けてください。 質量表示が 0 となり使用可能となります。
	電子回路に異常がある場合にこの表示になることがあります。 E101～E116	電源を一度切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。
	まれに、強い静電気等でこの表示がでることがあります。 E200～E207	電源を一度切って、しばらくしてから電源を入れ直してください。

お願い はかりを正しく使用する限りエラー表示することはありませんが、エラー表示した場合は上記処置をお願い致します。
上記処置を行っても異常な現象が出る場合は、はかり内部の異常ですので販売店へご連絡願います。



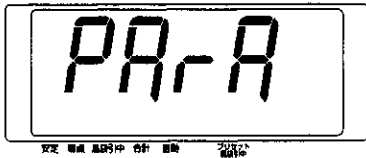

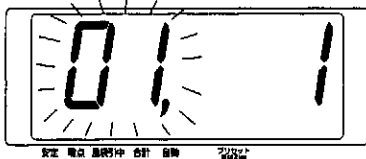


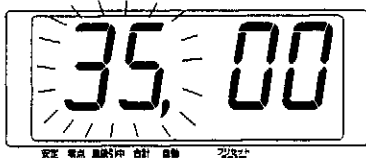



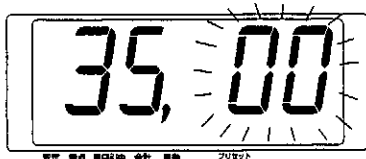
ユーザパラメータの設定のしかた





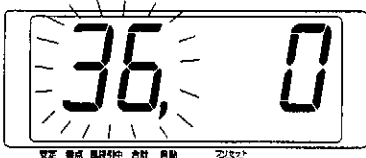


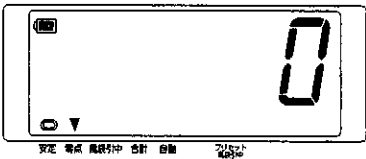
本ハンドパレット・トラックスケールには、30個のユーザパラメータがあり、使用環境に応じて最適な動作をするように設定変更できます。

ユーザパラメータ表 を参照して下さい。

下の操作では、パラメータ番号35を00から28に変更します。

本パラメータ番号はバックライト点灯に関するものです。設定値00は点灯しない場合です。設定値を28に変更すると常時点灯します。26、27ページのユーザパラメータ表の内容を参照して変更して下さい。

	操作手順	表示内容	備考
①	 キーを押しながら  キーを押して下さい。	 ・ PArA を表示します。	ユーザパラメータ設定モードを示します。
②	 キーを押して下さい。	 ・ パラメータ番号が点滅します。	
③	パラメータ番号「35」を表示するまで  キー又は  キーを押して下さい。	 ・ パラメータ番号が点滅します。	パラメータ番号「35」を表示させるまでに異なるパラメータ番号が表示されますが、  キー又は  キー以外のキーは押さないでください。
④	 キーを押して下さい。	 ・ 設定値が点滅します。	パラメータ番号を確定して設定値の変更に移ります。(現在設定されている値が表示されます。工場出荷時は00です。)

⑤	設定したい「28」を表示するまで  キー又は  キーを押 してください。		
⑥	 キーを押してください。	 ・パラメータ番号が点滅します。	設定値を確定すると「35」 の次のパラメータ番号 「36」が表示されますが、  キー以外は押さな いでください。
⑦	 キーを押してください。		計量モードに戻ります。

ユーザパラメータ表

番号	名 称	工場出荷時値	機 能 説 明
01	EL輝度調整	1	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
02	オートオフ時間	0	0：機能しない 01～15：1分刻みで指定分後オートオフ
03	上下限判別ブザー	0	0：ブザーを鳴らさない 1：軽量でブザーを鳴らす 2：適量でブザーを鳴らす 3：過量でブザーを鳴らす 4：軽量・過量でブザーを鳴らす (モード4の時のみ軽量はピーピー、過量はピピピピ)
04 ※1	上下限判別の安定検出	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
05 ※1	自動モード時の適量内印字加算	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
06 ※1	自動モード時の手動加算	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
07 ※1	非加算	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
08 ※1	印字	1	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
09 ※1	印字項目	1	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
10 ※1	時刻印字	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
11 ※1	計量毎の紙送り量	01	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
12 ※1	合計印字後の紙送り量	06	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
13 ※1	RS232C通信モード	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
14 ※1	RS232C通信速度	5	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
15 ※1	RS232Cパリティ	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
16 ※1	RS232Cプロトコル	1	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。

17 ※1	RS232Cメッセージ+ CR	1	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
18 ※1	RS232C通信内容	28	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
19 ※1	通信データ	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
20 ※1	RS232C CTSチェック	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
30 ※1	通信エラー表示	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
35	バックライト制御	00	00：点灯しない 28：常時点灯 36：零点以外点灯
36 ※1	判別サイン表示方法	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
41	地区補正/重力補正	98	000：補正しない 091～106：重力加速度有効範囲
66 ※1	ワнтаム加算	1	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
67 ※1	遅延加算	00	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
68 ※1	ゼロ加算	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
69 ※1	モーションディテク ション	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
75 ※1	風袋自動キャンセル	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
80 ※1	自動電源オン	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。
82 ※1	起動時自動モード	0	本製品には使用しないユーザパラメータです。設定値は変更しないでください。

※1：本製品には使用しないユーザパラメータです。

設定値（工場出荷時値）は変更しないでください。

変更された場合は正常に機能しなくなります。


ユーザパラメータ変更時は対象でないユーザパラメータを飛ばして設定値を触らないでください。

※1印の付いていないユーザパラメータは、使い勝手を考慮して適切な設定値を選択してお使いください。

バッテリーの充電について

はかり表示部の電池残量表示サインは、使用状況により以下のように変化します。



のようなサインが表示された時は、電池残量が少なくなっていますから付属の充電用ケーブルで充電をおこなってください。バッテリー保護のため、上記のサインが出るとすぐに電源をおとすようになっています。電源が入らなくなりますのですぐに充電をおこなってください。

充電方法について

以下の要領でバッテリーに充電してください。

充電をおこなう時は、風通しの良い涼しいところで行ってください。

炎天下や暖房機の近くでは絶対におこなわないでください。

充電中は、はかりのご使用はおやめください。

充電は、はかりの電源を切っておこなってください。












1. はかりの電源をOFFにしてください。
2. 指示計ケース右側面に有るゴムキャップを外してください。
3. 付属の充電用ケーブルを穴の中の3Pインレットと電源コンセントに差し込んでください。
4. 充電が開始されて右側面のLEDが点灯します。(LEDは充電中点灯します)
5. 電池残量や使用期間にもよりますが、充電時間はおおよそ12~14時間かかります。
使用環境によりますのであくまで目安の充電時間です。ご使用後は、状況に応じてこまめに充電していただくようお願いいたします。
6. 充電が完了すればLEDランプは消灯します。
7. 充電用ケーブルを3Pインレットとコンセントから抜いてください。
8. ゴムキャップを元通りにはめ込んでください。
(ゴムキャップは無くさないようにしてください。はめ込み忘れがあると水滴や塵埃の侵入により故障の原因になりますので必ず守ってください。)
9. はかりの電源をONにして電池残量表示サインがフル充電状態になっていることをご確認の上ご使用ください。

故障かな？と思ったら

はかり部の修理を依頼される前に次のような点を確認してみてください。

不具合状況	考えられる原因	対処方法
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ①キーを押し間違っている。 ②ヒューズが飛んでいる。 ③バッテリー残量がなくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①正しいキーを押し直してください。 ②ガラス管ヒューズを取り替えてください。 ③バッテリーを充電してください。
重量値が安定しない。	<ul style="list-style-type: none"> ①フォーク部やパレットが床面や床面の固定物等と接触している。 ②風が当たる場所や強い振動が伝わっている場所で計量している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①フォーク部やパレットと接触しているものを取り除いてください。 ①パレットが床面から完全に浮いていない場合はフォークを上昇させてください。 ②風や振動の影響のない場所で計量を行ってください。
はかりの動きが悪い。	<ul style="list-style-type: none"> ①凹凸のある路面で使用している。 ②傾斜の大きな場所で使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①、②平坦な路面等で使用してください。

仕様書

1. 品番 : THP-10SC- B (取引証明以外用)
2. 計量方式 : 電気抵抗線式
3. ひょう量/目量 : 1000kg / 1 kg
4. フォーク部台寸法 : フォーク長さ 1150mm
 フォーク全幅 555mm
 ツメ幅 180mm
 フォーク最低高さ 85mm
5. 表示管 : 液晶表示管 (LCD) 7セグメント表示方式 5桁 バックライト付き
 文字寸法 : 48 (H) × 20 (W) mm
6. 表示内容
- 質量値 : 4桁
- 上限設定値 : 4ケ
- 下限設定値 : 4ケ
- 風袋設定値 : 4ケ
7. サイン表示
- 電池残量 : 電池残量を3段階のレベル表示
- 安定 : 安定時点灯
- 零点 : 零点時点灯
- 風袋引中 : 風袋引中点灯
- 合計 : 合計表示時点灯
- 自動 : 自動モード時点灯 (本製品には使用していません)
- プリセット風袋引中 : プリセット風袋引中点灯
- 設定値桁 : 設定時の桁表示
- マイナス : 質量がマイナスの時点灯
- 軽量 : 軽量時点灯
- 適量 : 適量時点灯
- 過量 : 過量時点灯
8. スイッチ
-  : 電源オン, オフ用
-  : 零点リセット, 設定値クリア用
-  : 上下限值設定用
-  : 風袋引き用 (設定値桁用)
-  : 加算用 (設定値インクリメント用)
-  : 合計表示用 (設定値デクリメント用)
9. 風袋引 : 下記の2種類の風袋引ができます。
- a).  キーによるワンタッチ式
- b). 、、、 キーによるプリセット式
- 有効範囲 : ひょう量以内
10. 充電用電源 : AC100V +10%~-15% 50/60Hz
11. 充電用ケーブル : 約3m
12. 電源 : DC6V 10Ah / 2HR 充電式バッテリー
13. 使用時間 : バックライト無点灯時 連続使用で約100時間
 バックライト点灯時 連続使用で約50時間
 (使用環境により性能が大きく変わります)
14. 使用温度範囲 : -5℃ ~ +35℃
15. 使用湿度範囲 : 25% ~ 85% RH (結露無きこと)
16. 保存温度範囲 : -15℃ ~ +60℃
17. ヒューズ : FGB0-2A 125V 2A (富士端子工業) ガラス管ヒューズ
 φ6.4×L30mm

総発売元 **トラスコ中山株式会社**

〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1丁目34番15号

E-mail: techno.center@trusco.co.jp

お客様相談室  **0120-509-849**
